

2011年12月20日

プロジェクト報告書

ゆぎ舞踊会

代表 平 勇次

1. プロジェクト名

老後の余暇を豊かにするボランティア

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

老人施設に入所されている方たちは、変化のない毎日を送っている方が多く、外に出ることもほとんどなく、楽しみがありません。1時間程度の慰問ですが、昔を懐かしみ思い出して涙して喜んでくれます。各地のいろいろな施設をまわっていますが、どの施設も同じようなことが言えます。また来年も来てくださいと予約をされる施設が増えてきました。しかし、施設によっては、慰問に必要な設備が施設側で揃っていない為、依頼をお断りしている事が多々在ります。活動を充実する為には器材を自前で持ち込む必要があります。それによって、施設で生活している方々と共に豊かなひと時を過ごすことができます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

特別養護老人ホームやデイサービス、地域のイベントに、西多摩の風土に合った衣装や小道具等、思考を凝らし、目でも楽しめ、お年よりも自分たちも一緒に楽しみ、昔懐かしい股旅物・お座敷演芸・舞踊・マジック・歌などバラエティーにとんだ出し物でボランティア慰問しております。今年は結成 25 周年、節目として、今までの出し物を地域のお年よりの方々に見ていただき、共に豊かなひと時を過ごし、一緒に楽しんでいただきたい。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

毎月の各地の老人施設の慰問に加え、今年はゆぎ舞踊会 25 周年記念でもある為、地元のお年寄りには是非楽しんでいただきたく、地域の自治会館で公演を実施しました。前日から音響設定や照明・マイクの調整等準備、照明は舞台がいかに映えて綺麗に写るか、見る方も見たくて楽しみ、出し物で楽しみ、余暇のひと時を満喫していただく。豊かなひと時を過ぎていただけたと思う。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

3月の震災・計画停電により、予定していた慰問のキャンセルが多数ありました。25周年も予定の6月を11月に延期しました。当日は、普段見慣れた自治会館が、会員の手造りによって舞台に変わり、100名近くの観客が来場、開演時間を楽しみに待っておりました。あらかじめ青梅市社会福祉協議会や、ポスター、回覧板などで広報活動もし、沢山の方に見ていただき日頃のゆぎ舞踊会の活動もより多くの方に知っていただきました。助成終了後は、いただいた物を大切にかつ有効に活用して、これからも依頼が来た所へは勿論、自分たちからも積極的に訪問依頼し、地域で暮している方々に喜んでいただくよう今後も続けていきたい。今後の予定*平成24年1月29日、2月26日慰問予定があります。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

ゆぎ舞踊会 25周年記念公演

Shinjoプロジェクト「市民活動公募助成」



期 日 平成23年11月6日(日)
会 場 柚木町2丁目自治会館
開 演 午後1時30分～3時頃まで
演 目 股旅もの お座敷芸 マジック
なつメロほか

☆皆さん是非お出かけください！入場無料

会長 平 勇次

